

ラックスケールサーバー

DH120E V7

概要



DH120E V7

DH120E V7は、インターネット、インターネットデータセンター（Internet Data Center、IDC）、クラウドコンピューティング、エンタープライズと電気通信サービスの運用などのニーズに応じて開発した、幅広く利用されている次世代の1U2ソケット液冷サーバーノードです。柔軟な拡張性、高性能、高信頼性、容易な管理、容易な導入などのメリットを備え、ITコア業務、クラウドコンピューティング、仮想化、科学技術計算、エンタープライズまたは電気通信サービスの運用、およびその他の複雑なワークロードに適します。

技術仕様

プロセッサ	2×最大350Wの第4世代Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサ（Intel Eagle Streamプラットフォーム全シリーズ Sapphire Rapidsプロセッサ）
チップセット	Emmitsburg PCH
メモリー	最大32×DDR5メモリー
ローカルストレージ	さまざまなハードディスク構成に対応（ハードディスクはホットスワップ対応）：最大12×SAS/SATA/NVMeハードディスク
RAIDサポート	RAID0、1、10、5、50、6、60に対応し、スーパーキャパシタによるキャッシュデータの電源障害保護、RAIDレベルの移行、ディスクローミング、自己診断、Webによるリモート設定などの機能を提供
ネットワーク	複数タイプのネットワーク拡張機能に対応： 最大4×ハーフハイトハーフレングス（HHHL）の標準ネットワークカードスロット（必要に応じて構成可能）
PCIe拡張	最大4×PCIe 5.0 x16 HHHLスロット+1×PCIe RAIDコントローラカード専用のHHHLスロット/1×自社開発のRAIDコントローラカード専用のスロット
ファンモジュール	7×ホットスワップ対応の二重反転ファンモジュール、N+1冗長対応
コールドプレート	2×CPU+VRD液冷
電力供給	1×3000W DC電源モジュール
管理	サーバーノードのBMC管理システム
OS	SUSE Linux Enterprise Server、Red Hat Enterprise Linux、VMware ESXi、Ubuntu
セキュリティ特性	管理者パスワード、TPM 2.0、セキュアブート
動作温度	5℃～45℃（41°F～113°F）、ASHRAE Class A1/A2/A3/A4に準拠
認証	CE、UL
寸法 （高さ×幅×奥行）	43.2mm×536mm×900mm